

(平成 29 年 8 月試験研究業務月報)

試験研究課題：乳牛の快適性向上のための暑熱対策

情 報

夏本番！家畜用衣料「うしブル」実証試験実施中

乳牛は暑さに弱く、夏期は食欲が落ちて乳量が減り、熱射病で死亡することもあります。酪農において近年の猛暑は深刻な問題です。

そこで、7 月末から当センターと中丹管内の酪農家 2 戸において、暑熱の影響を受けやすい分娩前後の乳用牛 11 頭に、当センターとゲンゼ株式会社が共同開発した暑熱対策用の家畜用衣料「うしブル[※]」を着用して実証試験を行っています。

実証試験では乳量の変動を確認するほか、血液中の暑熱ストレス指標であるインターロイキン 6 の変動等を調査し、「うしブル」の効果のデータ収集するとともに加水をより円滑にするシステムの改良を重ね、普及を目指します。

- ※ うしブル：ゲンゼ独自の冷感素材に加水装置をつけた家畜用衣料。
冷感素材に水が自動で適量給水され、気化熱により体表面温度を低下させる。



牛舎にて「うしブル」着用中の牛



採血の様子